

「旅立ちの言葉」

寒さも和らぎ始め、花々の芽吹きに新たな季節の到来を感じる今日、私たち121名は卒業式を迎えることができました。

本日は、私たちの為に心温かな卒業式を挙げていただき、卒業生一同、心より御礼申し上げます。この日を無事に迎えられたことに幸せを感じています。

今、この仲間と過ごして来た三年間の思い出が昨日のことのように思い出されます。

三年前、不安と緊張の中、日枝中学校に入学し、たくさんの方々が温かく私たちを迎えてくださったことを今でもはっきりと覚えています。わからないことだらけで始まった中学校生活でしたが、やがて大切な仲間とともに充実した日々を積み重ねることができました。

一年生、初めての部活動に不安もありましたが、期待に胸を膨らませ入部し、一生懸命取り組みました。先輩方の部活動に対するひたむきな姿に感動し、憧れを持ちました。

二年生、自分たちに後輩が教えることの難しさや引っぱり張っていくことの大変さを知り、時にうまくいかないこともありましたが、支えてくれるチームメイトや、全力で指導してくださる先生方のおかげで最後までやり遂げることができました。苦しいこと辛いこともたくさんありましたが、部活動という場で、私たちが成長できたことを実感しています。

昨年の3月2日全国の学校がコロナウィルスの影響で休校となりました。その時、コロナウィルスさえなければ、いつものように仲間と笑っていた。ともにもっと長い時間を過ごせていた。と考えたとき、今まで通っていた学校へのありがたさを感じました。

この一年間は、本当ならば例年通り行うことができた様々な行事が中止、延期、縮小とな

り、やるせない気持ちを抱えながら、前を向き全力で行事に取り組みました。

迎えた初めての行事、体育祭。最初は自分たちが教える立場になる不安。種目の数が減り、制限されることへの不満。いろいろな気持ちがありました。しかし、練習を重ねるごとに、クラスがひとつになって取り組むことに、喜びと楽しさを感じるようになっていきました。

体育祭当日、私達最後の集大成を家族に見てもらえないさびしさもありましたが、「よさこいソーラン」を踊り伝統を繋ぎ、自分達の体育祭を作りあげることができました。応援してくださいました方々、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

「歌うことができなくなった文化祭。」

合唱コンクールではなく、クラスで出し物をするようになりました。皆が例年とは違う取り組みに変更されたことを受けとめ、初めてのことに挑戦しました。上手くいかないことも沢山ありましたが、リーダーが中心となり、文化祭を成功させるために、一生懸命取り組む姿がありました。また、色々な意見を出し合うことにより、沢山の人と話す機会が増え、文化祭の準備期間を通してクラスの仲がとても深まりました。最後の文化祭で合唱ができなかったことは、残念でしたが、思い出に残る一日になりました。

「長崎を訪れる予定だった修学旅行。」

新型コロナウイルスの影響で秋へ延期され、行き先が長浜へとなりました。私たちは二年生の時から楽しみにし、準備を進めてきた修学旅行に行けないと知ったとき、悲しい気持ちでいっぱいでした。そんな私たちのために、一番に行動してくださいしたのは、先生方でした。なんとか私達に思い出を残してやりたい。という想いで、校外学習を企画してくださいました。修学旅行より規模は小さくなりましたが、長浜ではとても楽しい時間を過ごすことがで

き、グループで宝探しをすることで、仲間と協力し、仲を深めることができました。おかげで例年とは全く違う形で始まった中学校生活最後の年は充実したものになりました。そして、三年間楽しい日々を過ごせたのは仲間のおかげです。仲間と競い合い、支えあうことで共に高め合うことができ、時には、悩みも相談できる頼れるかけがえのない存在です。一緒に笑ったり、泣いたり。そんな日々をこの仲間と過ごすことができたからこそ、この三年間が幸せだったのだと感じています。

「今まで ありがとう。」

いつも私達と真剣に向き合い、引っ張ってくださった先生方。一年生の頃からたくさん迷惑をかけたのにも関わらず、私達のことを思い、何かあれば一緒にになって親身に考えてくださいました。先生方のおかげで、私達は何が正しいのかに気づき、まっすぐに三年間を過ごすことができました。これからも成長していく私達を見守ってください。三年間 ありがとうございました。

最後に、いつも一番近くで私達を支えてくれた お父さん、お母さん。

部活動や行事を思うようにやりきることができなかつたこともあり、どうしようもない気持ちから、強く当たってしまうこともありました。ずっと注意しなくてはならない感染対策で不満が大きくなった時、決めなければならない進路のことで不安になった時も、「好きなことをしなさい。」「やれるだけのことをしなさい。」と、そっと優しく見守ってくれたおかげで前を向くことができました。自分の頑張っている姿を、お父さん、お母さんが見て、認めてくれていたことで、自分に自信を持って進むことができました。いつもは意地を張ってしまっ

って言えないけれど、本当にありがとう。何も言わなくても、そばにいてくれるぬくもりを

いつも感じています。そんなお父さん、お母さんのことが大切で今までも、これからもずっと、大好きです。まだまだ迷惑をかけるとおもいますが、これからも私たちを見守っていて下さい。

私達は今日、三年間学んできた日枝中学校に別れを告げ、それぞれの未来に向かって、三年間で築きあげた誇りと自信を持ち自分の足で歩き始めます。

日枝中学校の益々のご発展と、校長先生をはじめ諸先生方のご健康とご多幸を祈念し、この言葉を卒業生一同、心に残し、旅立ちの言葉とします。

「感謝の気持ちで」

令和三年 三月十五日

卒業生代表 S・O